



Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

静岡ロータリークラブ

●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／平尾 清 ●副会長／川辺 哲 ●幹事／番匠 俊行 ●副幹事／横山 泰久

2023-2024

6月17日



第3706回例会

ゲスト卓話

「可処分『時間』からみた移住・二地域居住の本当の意味」



●ロータリーソング●



副会長
川辺 哲君

●ゲスト紹介●

静岡経済研究所 特任研究員 阪口 瀬里奈様
米山奨学生 ソリマン・ゼアドさん

●会長挨拶●

会長 平尾 清君

今日は一年を振り返ってみたいと思います。静岡RCはとにかく人の出入りが非常に多いクラブで、現在でも2620地区では最大のクラブ、最大数を誇るクラブだと思うのですが、一年前、私のスタート7月1日時、実は102名でした。今日現在、入退会決まっている方入れますと、6月30日はプラス2名で104名に

なる予定です。中身は入会者23名で、退会者も21名いらっしゃいます。毎年、特に今年は人事異動の当たり年でもっと多いかもしれませんが、やっぱり20人前後2割ぐらいがすぐに入れ替わるというクラブです。この一年間で入会された方は、名前や顔がまだ一致しない方が多いと思うのですが、是非早い段階で覚えていただきたいと思います。80クラブ程この地区にはあると思うのですけれども、小さいところは20数名のクラブがいくつかあると思います。そういうクラブを考えますと退会も入会も20名台というのは大変すごいことだと思います。新会員紹介はこの後ですが、一年振り返ってみまして、色々な方より卓話をいただきまして、面白い話もいろいろありました。最近では台湾海峡の話をしていただいた東海大学の山田先生、日本と中国との一触即発のような、生々しい映像まで見せていただいて、我々が今まで享受してきた平和というのがどれだけ大変なことなのかということを身にしみて感じております。それから私自身の会長挨拶、色々な話をしてきましたが、嬉しかったことが二つあります。一つは、私が皆さんに是非ご紹介したいと思ったスティーブ・ジョブズのハーバード大学での卒業式のスピーチです。動画で英語混じりでしたが、下にきちんと翻訳がついて、皆さんにご紹介できたこと。実は紹介しながら結構感極まって、目がうるうるしたのですが、あの時の言葉、皆さん覚えてらっしゃるでしょうか？「Stay Hungry. Stay Foolish.」この言葉、あれからもう半年ぐらい経っていると思いますが、あの会長挨拶以来、まだ頭の中にしみついております。それからこれは個人的な趣味の範囲でもあります、会長挨拶の中

で、2024年が非常にメモリアルな百年の年だということでジョージ・マロリーの話をしました。その会長挨拶の時にはまだ入会されてなかった方、何人かいらっしゃるのでも簡単に言いますけれど、1924年イギリスのエベレスト登山隊、頂上を踏んだが踏まないか？いまだに謎になっておりますが、その時に登頂したかもしれないといわれているのがジョージ・マロリー卿です。1924年のことです。皆さんにご紹介したのが、「なぜ山に登るのか？」という問いに、「そこに山があるから」と答え、この日本語の訳を聞いた方いっぱいいらっしゃったと思いますが、世紀の大誤訳でしたという話をした記憶があります。ニューヨークタイムズの記者のインタビューにジョージ・マロリー卿はエベレスト登山出発前に答えております。記者の質問は“Why did you want to climb Mount Everest?” ジョージ・マロリーは2回エベレストに挑んでますので、「なぜあなたはエベレストに登りたかったのか？」それに対してジョージ・マロリー卿の言葉は「Because it's there.」これを日本語ではそこに山があるからと訳したものですから、哲学的な思索好きな日本人は、この一連のやりとり「なぜ山に登るのか？そこに山があるから」と、非常に哲学的な解釈が加わってしまったんですけれども、実はジョージ・マロリーの答えは、「なぜなら、世界一高い山、未踏峰の山がそこにあるから」、ただこう答えたただけなんです。世界で一番高い山、未踏峰の山に登るのは人類の夢であると。Because it's thereというのが、そこに山があるからではなくて、そこに世界最高峰のエベレストがあるからとこういう問答だった

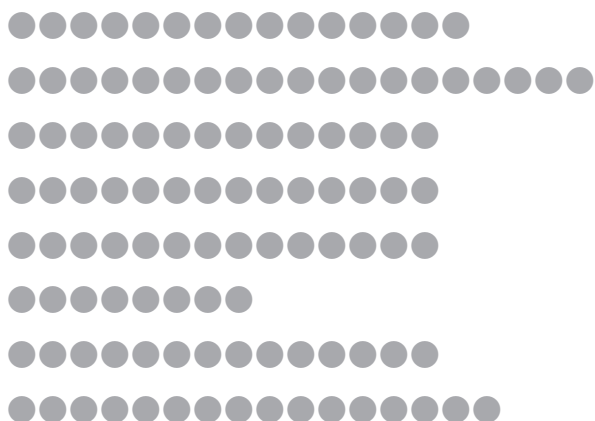
んです。こんな話をこれは個人の趣味の延長で皆さんにご披露できたのも嬉しかったです。そんなこんなであつという間に一年が過ぎようとしております。ご迷惑かけたことはないと思うのですが、皆さんの例会での温かい眼差しで気持ちよく一年務めさせていただきました。まだちょっと早いですが、一年間ありがとうございました。それでは皆さん、今週もお元気で。“Enjoy Rotary”ありがとうございました。



●新 会 員 紹 介●



齊藤 秀彰さん
(さいとう ひであき)



●幹 事 報 告●

幹事 番匠 俊行君

来週は最終例会となります。エンジョイロータリーの集大成として、夜間例会の後、懇親会を

行います。久保田さんのバンドの演奏もあり、リクエスト曲もやっていただけるようなので楽しみにして頂き、大勢の方のご参加をお願い致します。

●ス マ イ ル●

浅原 諒蔵君

新会員の齊藤さんを宜しくお願いします。

志田 洪顯君

巴川の齊藤さんの紹介者です。どうぞよろしくお願い致します。ご存知かもしれませんが、静高の甲子園出場選手です。富士見ヶ丘CCの地主だそうです。

齊藤 秀彰君

伝統と格式ある静岡ロータリークラブの会員になれましたこと、誠に光栄に思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。

久保田 隆君

来週の最終例会でJ A Z Z B A N Dを担当します。リクエストできる曲はやりますので、ご期待下さい。もう一つ、望月年度でお使い頂きました焼津の崖の上の家が「ライフタイム オンザクリフ」としてオープンしました。土曜・日曜のみの営業で若いスタッフがやっています。是非一度お見え下さい。休んでいるかはインスタグラムでご確認下さい。

大石 剛君

今年も結婚記念日のお花をお贈り頂き、ありがとうございます。●●年……●●歳と●●歳を迎え、現在は孫も2人……お互いに良き歳を重ねています。お助け花には毎年 感謝、感謝です。ありがとうございました。

満席スマイル

5番 金澤さんテーブル

● 出 席 報 告 ●

例会日	全会員数 (出席計算人数※)	出 席 会 員 数	欠 席 会 員 数	暫 定 出 席 率
6/10	104 (104)	現地 75 名 Zoom2名	27 名	74.03 %
6/17	105 (105)	現地 70 名 Zoom1名	34 名	67.62 %

※出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

● ゲ ス ト 卓 話 ●

静岡経済研究所 特任研究員 阪口 瀬里奈様



「可処分『時間』からみた移住・二地域居住の本当の意味～『静岡時間』の総量を増やしませんか～」

地域居住と移住者の可処分時間とは何か？を考えたときに、関係人口という単位ではなく、時間という単位に着目してお話したい。人間一人当たり平等に与えられている24時間というリソースのうち、睡眠や食事といった生命維持活動に必要な時間を8時間ぐらいとし、8時間程を労働時間と考えると残り8時間が可処分時間、つまり自分のやりたいことができる時間。これが消費者として消費行動を取れる時間。全国統計でいくと東京の可処分時間は少なく、仕事時間が長い。一方静岡は可処分時間が全国9位という長さ。自分自身の経験からも東京では休日ぐったりして休息していたのに、静岡では休日を満喫でき、暮らしが良くなったという体感がある。移住というと年収が下がるという話が出るのが

多いが、実は静岡に移住することで可処分時間が増えるというのは忘れがちなポイント。自分の時間を使って家族とどう暮らすのかとか、友人とどう楽しくやれるのかというところが、幸せに繋がってくると思う。地域にとっては曖昧な関係人口をどう増やすかより、関係時間（静岡時間）の増やし方を考えることが大事。移住定住というところに、目が向きがちだが、まずは東京と静岡を比較し、静岡へ来ると可処分時間が増えるから良いというメッセージを出してあげる。ターゲットは30歳前後の人や退職後の人、そこに絞ってしっかりと情報を届けること。且つぼんやりと関係人口を増やしましょうというのではなくて、関係時間の方に注目して、一体静岡でどういうふうに使ってもらえるのかというような議論をしていくべきだと思う。移住者・二拠点居住者は、以前より増えた可処分時間を「静岡時間」に投資しがちだが、そのように外から来る人だけではなくて、定住者の我々の時間の使い方も考えなければいけない。「静岡時間」の総量に効いてくるのは、大多数を占める定住者の時間の使い方だが、いままではその議論が意外とされてなかった。今後はどうやったら静岡へ関わる時間を増やせるかをテーマに議論するということが大事だと考える。

○次回令和6年6月24日は夜間例会となります。2023-24年度の最終例会となり、平尾年度のエンジョイロータリーの集大成として、楽しく飲んで親睦をさらに深める場となるように企画しました。多くの皆様の出席をお待ちしております。